



令和3年12月10日
一般財団法人 地域創造

令和3年度地域創造大賞（総務大臣賞）受賞施設の決定について

（一財）地域創造では、令和3年度地域創造大賞（総務大臣賞）の受賞施設を以下の4施設に決定しました。

1 受賞施設

- | | |
|---------------|------------|
| ○調布市せんがわ劇場 | 【東京都調布市】 |
| ○茅ヶ崎市美術館 | 【神奈川県茅ヶ崎市】 |
| ○東海市芸術劇場 | 【愛知県東海市】 |
| ○滋賀県立文化産業交流会館 | 【滋賀県】 |

2 表彰式

日時 令和4年1月21日（金）14:00～14:50
会場 グランドアーク半蔵門 華の間（東京都千代田区隼町1-1）

3 地域創造大賞（総務大臣賞）について

- この賞は、地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰し、全国に広く紹介することにより、公立文化施設のさらなる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として、平成16年度に創設されたもので、今年度が18回目の表彰です。
- 受賞施設は、全国の地方公共団体から応募があった施設について、以下の基準を設け、専門家で構成する地域創造大賞審査委員会（委員長：田村孝子氏／文化ジャーナリスト）において審査を行い、その結果を受けて決定しました。

4 審査基準

- (1)地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか
- (2)先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか
- (3)地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働(コラボレーション)に意欲的に取り組んでいるか

など

地域創造大賞（総務大臣賞）審査委員

役職	氏名	所属等
委員長	田村 孝子	文化ジャーナリスト、 前 公益社団法人 全国公立文化施設協会 副会長
委員長代理	吉本 光宏	株式会社 ニッセイ基礎研究所 研究理事 (社会研究部芸術文化プロジェクト室長兼務)
委員	熊倉 純子	東京芸術大学大学院国際芸術創造研究科長 教授
委員	小林 真理	東京大学大学院人文社会系研究科 教授
委員	坪池 栄子	株式会社 文化科学研究所 編集プロデューサー
委員	仲道 郁代	ピアニスト
委員	柳沢 秀行	公益財団法人 大原美術館 学芸統括
委員	山本 信一郎	一般財団法人 地域創造 理事長

※委員長、委員長代理以下、五十音順

問合せ先
一般財団法人 地域創造
総務部 柴田、三田
TEL : 03-5573-4184

—受賞施設紹介—

調布市せんがわ劇場【東京都調布市】



◎ “まちの文化広場”として地域ブランドを向上

コミュニティ施設や保育園等が併設された地域密着型の小規模施設（121席）。舞台芸術系大学のあるまちの身近な劇場として、気軽に良質な音楽を鑑賞できる「サンデー・マティネ・コンサート」を継続的に実施。ピアノオーディション、演劇コンクールなどの育成・発信事業、公募による市民劇などにも取り組み、地域ブランドの向上に貢献した。

運営：公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団
開館：2008年

茅ヶ崎市美術館【神奈川県茅ヶ崎市】



撮影：Ben Matsunaga

◎ 郷土美術館として“豊かな地域発見”に貢献

古くは別荘地であった地域に立地し、洋画家の萬鐵五郎、小山敬三、前衛書家の井上有一などゆかりのある多彩な作家の作品を収蔵。インクルーシブデザインの手法を取り入れた「美術館まで（から）つづく道」や、茅ヶ崎の夏の定番を取り上げた「アロハシャツ展」など、様々な切り口で展覧会を展開し、豊かな地域発見に貢献した。

運営：公益財団法人 茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団
開館：1998年

東海市芸術劇場【愛知県東海市】



◎ “芸術文化によるひとづくり”を推進

駅に隣接した再開発地区にある大規模複合文化施設。「未来をひらく文化創造拠点」をコンセプトに、子どもオーケストラ、合唱団、ダンスチームなどを育成。市民参加による「東海市紅白歌合戦」や名古屋フィルハーモニー交響楽団と連携したアウトリーチなどにも取り組み、市の直営施設として芸術文化によるひとづくりを推進した。

運営：東海市
開館：2015年

滋賀県立文化産業交流会館【滋賀県】



◎ “伝統文化”の普及・振興に貢献

県東北部の文化と産業振興の拠点として開設されたイベントホール・小劇場・オフィスの複合施設。指定管理者制度への移行を機に、特設舞台・芝居小屋「長栄座」公演、古典芸能キッズワークショップ、邦楽専門実演家養成事業、小中学校を対象にした演奏家派遣事業「和のじかん」などに取り組み、地域資源である伝統文化の普及・振興に貢献した。

運営：公益財団法人 びわ湖芸術文化財団
開館：1988年